

〈壁埋込用取付ボックス〉

BOX-10270

・施工は必ず工事店に依頼してください。

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 施工は、施工方法にしたがい確実にこなってください。
施工に不備があると、落下の原因となります。
- 取付ボックスを改造しないでください。落下の原因となります。

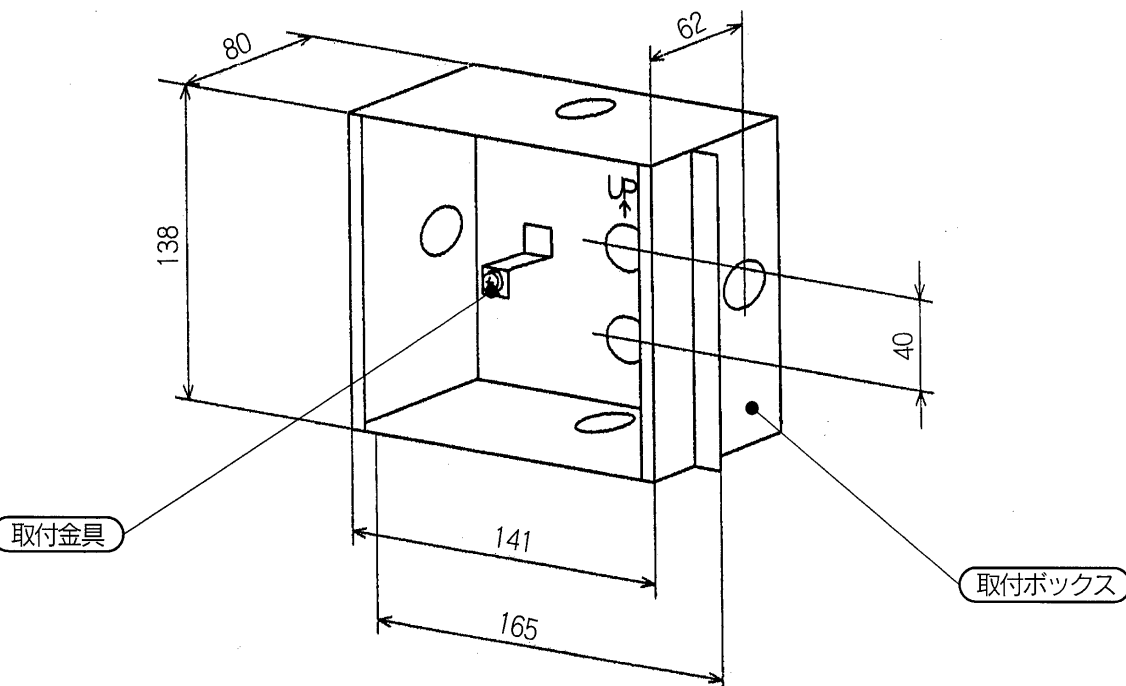
⚠注意

- この取付ボックスは一般屋内用です。雨水のかかる場所、湿気が多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
器具の火災・感電・落下の原因となります。
- この取付ボックスは、コンクリート流し込み用としては使用しないでください。
取付ボックスの変形や、器具が取付かない原因となります。
- 壁面の凹凸がある場所では使用しないでください。
器具の光漏れや損傷の原因となります。
- この取付ボックスには方向性があります。UPと表示した方向を上側にして取付けてください。
器具が正しい方向に取付かない原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。
器具を取付けた際、蓄電池の劣化や火災及び非常点灯しない原因となります。

仕様図

適合器具

FBK-10270-PS17

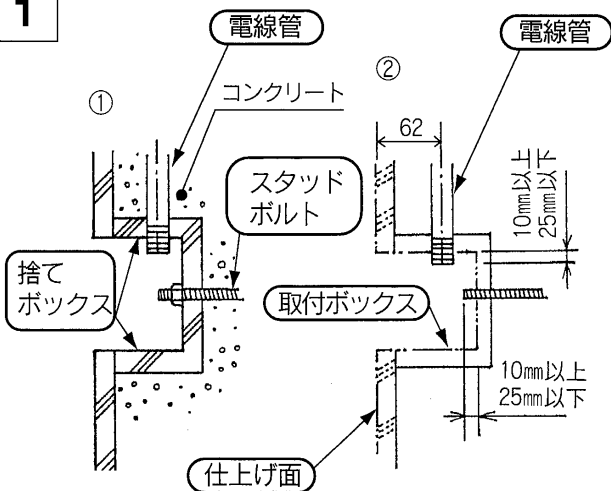


施工方法

△警告

施工は取扱説明書に従い、確実に行ってください。施工に不備があると、落下・器具の火災の原因となります。

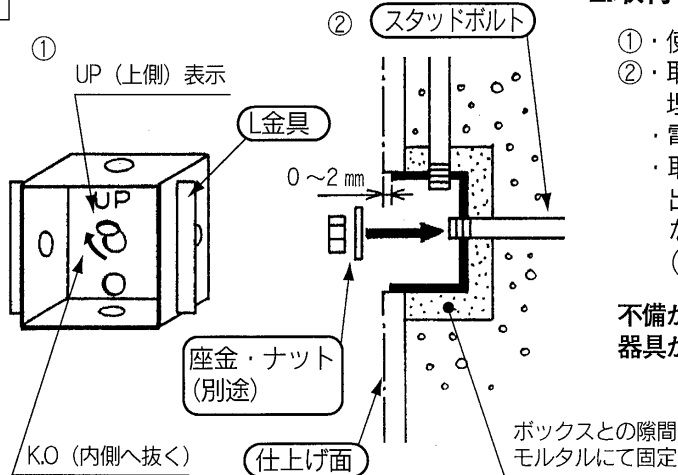
1



1.埋込穴開口と配線

- ①・コンクリート打ち込み前に、取付ボックスよりも周囲50mm程度ずつ大きい捨てボックスを据え、配管する。
・捨てボックスの深さは取付ボックスよりやや深めとする。(コンクリート流し込み用捨てボックスを取り出した後、ご使用ください。)
 - ②・電線管の取付ボックスからの出しろは、10~25mmの範囲とする。
- 注) 背面より電線管挿入の際、取付ボックスからの出しろは、10~20mmの範囲としてください。
・スタッドボルトで固定する場合、取付ボックスからの出しろは、10~25mmの範囲とする。

2

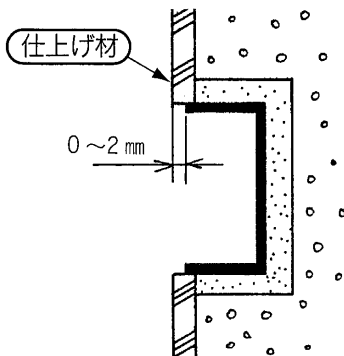


2.取付ボックスの固定

- ①・使用するK.O穴を外す。
- ②・取付ボックスの方向をUP表示側が上側となるように、埋込み穴に取付ける。
・電線管またはスタッドボルトで固定する。
・取付ボックス前面が、後に施工する壁仕上げ面より突出しないようボックス位置を調節し、水平度に注意しながら、埋込み穴とのすきまにモルタルを埋め込む。(L金具の奥部にモルタルが充分入り込むようにする。)

不備がある場合、落下・器具からの光漏れ・器具が取付けられないなどの原因となります。

3

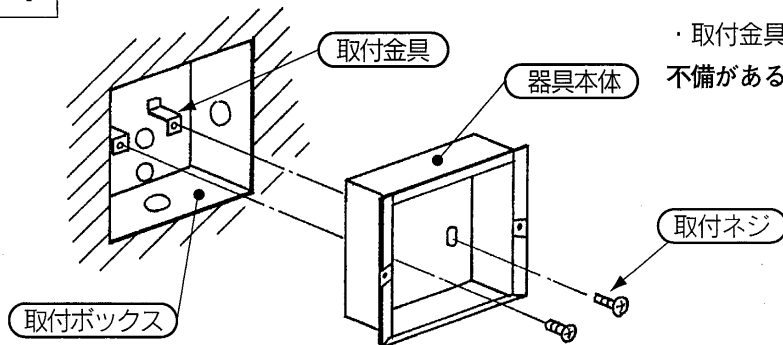


3.壁仕上げ面の施工

- ・取付ボックスとの間にすきまがないよう仕上げ材で仕上げる。
- ・取付ボックスが壁仕上げ面と同一か最大2mm以内で埋め込まれた状態で仕上げる。

不備がある場合、器具からの光漏れ・器具が取付けられないなどの原因となります。

4



4.器具本体の取付

- ・取付金具に仮止めしてある取付ネジで取付ける。
- 不備がある場合、器具の落下などの原因となります。